



コイのメス化を指標とした環境ホルモン調査

ゴミや有機汚濁だけではなく、内分泌攪乱化学物質など新しい環境問題にも関心を持ってもらうため、市民参加型環境調査として実施した。



今回の調査は、専門研究機関の協力も得て流域の水系6地点で行った。

合成化学物質が生物に与える影響の調査は未解明な点が多いため、基礎データの収集が急務である。今後も、環境改善の行動として市民も参加しながら継続していきたい。